

若者の政治参画 マイノリティの声も社会へ

いま若者議会を設置する自治体が増えていますが、本当に多様な若者の声が吸い上げられているのでしょうか。若者が社会でマイノリティー化し、そのなかにもさらにマイノリティーが含まれています。声にならなかったことを声にしていくプロセスは重視されているのでしょうか。

愛知県新城市はイギリスの若者議会から学び、全国に先駆けて 2015 年から若者議会を設けています。この議会では、市長に提案した若者の意見が政策決定プロセスに組み込まれ、その政策が実際に行われています。若者みんなが参加しやすい工夫をしながら、若者の力も自治体を動かしています。静岡県には、若者が大人と同等に社会への影響力を持てるよう、ヨーロッパのローカル・ユースカウンシルを参考に活動している「わかものまちな静岡」があります。今ここに生きている若者が、社会はこのままでいいのかと自分で考え、社会づくりに関わっています。大人も、子ども・若者も、一人ひとりが意見を表明し社会に参画できるか、社会の根幹が問われています。ゲストのお話をうかがい一緒に考えてみませんか。

■ 基調講演： 両角 達平さん



1988 年生まれ。長野県出身。フリーの研究者。ストックホルム大学教育学研究科修士（国際比較教育）。専門は比較教育学、スウェーデンの若者参加政策、シティズンシップ教育。2009 年、静岡にて若者の社会参画を支援する学生団体 YEC を設立。大学生による中高生の余暇活動支援を

軸とし、啓発活動などにも取り組み、若者の社会参画を促すユースワーク活動を続ける。2012 年からスウェーデンの首都ストックホルムに留学。新卒でドイツの若者政策の国際 NGO Youth Policy Press(ベルリン)に勤務。内閣府の子ども若者育成支援点検評価会議などに関わる。ブログ「TatsumaruTimes」を編集し、各種メディアに記事を配信。

■ ゲスト：穂積 亮次さん



1952 年 東京都文京区生まれ。40 代の半ばで亡父の出身地である愛知県鳳来町(現・新城市)に移り、山林業に携わる傍ら、地域活動に参画。森林 NPO 法人の役員等をつとめた後、2004 年に鳳来町長に当選・就任。翌 05 年に、市町村合併に伴う新・新城市長選挙に立候補し当選。市民病院の経営立て直し、財政健全

化、地域情報化、新城版・こども園、自治基本条例、地域自治区制度、若者議会などの各種マニフェスト事業に取り組み、2017 年 10 月の市長選挙に当選して、現在 4 期目。過去にマニフェスト大賞の首長部門で 2 度優秀賞、若者議会もシティズンシップ推進部門で最優秀賞に選ばれる。著書に『自治する日本—地域起点の民主主義』(2016 年・萌書房)、『自治体若者政策—愛知県新城市の挑戦』(共著 17 年・萌書房)など。

■ 日時：2018 年 4 月 6 日(金) 18:30~21:00 (開場 18:00)

■ 会場：文京シビックセンター 5 階 会議室 C

東京都文京区春日 1-16-21 (丸ノ内線・後楽園駅 1 分、三田線/大江戸線・春日駅 1 分)

■ 参加費：一般 1,000 円/学生 500 円 当日受付にてお支払ください。

■ 主催：ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF)

東京都新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 501 認定 NPO 法人まちぽっと

Tel 03-5941-7948、Fax 03-3200-9250、ホームページ <http://socialjustice.jp/>

■ お申込みページ：<https://socialjustice.jp/20180406.html> 事前にご登録ください。

